

火災予防を呼びかけ 洞爺地区防火パレード

10月15日、洞爺地区の幼少年婦人防火クラブや消防団員、洞爺防火協会が、火災予防を呼びかける防火パレードを行いました。パレードは、毎年10月15日から始まる「秋の火災予防運動」に合わせて実施し、今年で20年目を迎えました。

当日は、洞爺保育所の園児による「火の用心の歌」を合唱。引き続き洞爺小学校児童の鼓笛隊の演奏に合わせて、洞爺水の駅周辺などをパレードしました。

パレードでは、「火の用心」と大きく叫びながら、火災予防や住宅用火災警報器設置を呼び掛けました。



火災予防を呼びかける防火パレード

平成26年度
第35回北海道ママさんバレーボール大会道南ブロック



優勝した洞爺湖のメンバー

親善大会（北海道ママさんバレーボール連盟道南ブロック主催）が、10月26日伊達市総合体育館で開かれました。参加したのは、胆振、日高、渡島、後志の各管内から22チームが参加して開かれました。

試合は、A、B、Cの各ブロックに分かれてトーナメント方式で行われ、7チームが参加したAブロックで、町内のチーム洞爺湖が優勝を勝ち取りました。

洞爺湖は、第1試合、第2試合とも2対0で順調に勝ち上がり、決勝でも苫小牧グランマに2対0で勝利し、3試合ともセットを奪わずに完勝しました。

ママさんバレー大会 洞爺湖優勝

大きな問題
となっている認知症に対する理解を深めようと地域包括支援セ



徘徊者役を見つけて話しをする搜索模擬訓練

ンターが、10月31日あぶたふれ合いセンターで、約60人が参加して、講座と徘徊者への搜索模擬訓練を行いました。

講座では、デイサービスセンターふるりの丘の工藤一憲生活相談員から、認知症と認知症の高齢者への対応についてくわしい話がなされました。

続いて伊達警察署員からは、寸劇をまじえた徘徊行方不明が起きた場合の届け出の出し方について説明。その後まちに出て、徘徊者役の人を実際に探す捜査模擬訓練が行われ、探すポイントや声のかけ方などを学びました。

増える認知症に対応 徘徊者搜索の模擬訓練を実施

虻小創立130周年を祝う 卒業生らと校歌斉唱

開校130年を迎えた虻田小学校（成田浩司校長）で、11月9日、開校130周年記念集會が開かれ、全校児童と卒業生、来賓らが参加して、長い歴史と伝統に思いをはせました。

集會では、成田校長が「この学校を誇りに思い、地域の人たちが見守ってくれていることに感謝し、この町の中心となって、素晴らしい町にしていってください」と挨拶。

引き続き映像で130周年の歩みをたどり、児童を代表して、大西彩綾さんが、「大きな夢、希望が持てる学校をめざしていきましょう」と作文を朗読しました。

最後に卒業生で結成した歌い隊約30人が児童らといっしょに校歌を斉唱し、集會を盛り上げました。



全校児童と卒業生が校歌をいっしょに歌う

まちのわだい

